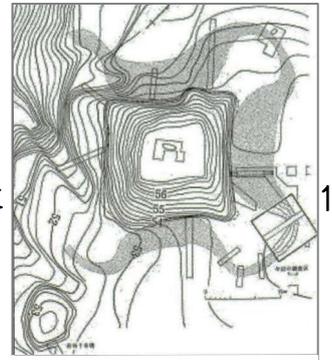


2024.6 月のみどころ 杉谷四隅突出型墳丘墓

現在は、四角いヒトデのような四隅がちょっと尖がった形になっていますが、試掘調査によれば、一辺25m高さ4mの方墳の四隅から舌状に5mほどのスロープが伸びていたようです。このスロープがどんな機能を果たしていたか。想像を逞しくして見るのも楽しいのではないのでしょうか。

なお、この特異な形の古墳は、出雲王権の影響が強いと考えられています。



現在の等高線図
網掛けは、
発掘調査による想像図

古沢 塚山前方後円墳

呉羽丘陵では珍しい前方後円墳。呉羽丘陵では数少ない整備された古墳の一つで、周囲を回ることができます。前方と後円の境目に上がると、形がよくわかります。5世紀ごろとされ、発掘調査はされていません。



古沢神明社

もともとは新田開発の成功を願ったお社。文政期に高木村から譲渡されたものが始まりとされ、その後古沢用水がつくられるにともない用水の守護さとれています。また隣に「法尻相撲場」の跡があり遠く氷見や能登からも参加し人気の興行とされていました。



植物など



○エゴノキ 枝いっぱい雪のように白い花を吊り下げ、英国で「スノーベル(雪の鐘)」と名付けられ、夏には灰白色の実を多数吊り下げます。果皮には毒(サポニン:昔は魚とりに…今は禁止)がありますが、種子は脂肪分が多く、ヤマガラの大好物。広く里山に生え、雑木林に見られる代表的な樹木のひとつです。



○スイカズラ 「水を吸う葛」の意から「吸葛」に。また、昔は、花の奥の方にある蜜(みつ)を 子どもが吸って遊んだことから「吸葛」となったとの説もあります。花の色は、白から黄に変化していくことから中国では「金銀花」と呼ばれます。

○ムラサキシキブ

ジャパニーズ・ビューティ・ベリー(日本の美しい果実)とも呼ばれ、海外にも紹介されるほど人気のある花木です。ムラサキシキブの幹は丈夫かつ、まっすぐであるため昔から杖や道具の柄などに使われてきました。江戸時代の植木屋が平安時代の女流作家『紫式部』になぞらえて付けたともいわれます。

